

## 〈まごころ・CS 推進研究に関する取組〉

### 1 コミュニティ・スクールの推進、整備

#### (1) 各学年の掲示物の作成

各学年で、CS の方に関わってもらった活動を振り返り、掲示物を作成した。各学年の廊下に掲示することで、自然に子どもたちの目にふれ、それぞれの活動を振り返るとともに、CS の方との関わりについても思い出し、感謝の気持ちをもつことができた。



〔CS の方に関わってもらった活動〕

#### (2) CS の方へのしおりの作成

お世話になった CS の方に感謝の気持ちを伝えるため、しおりを作った。しおりのメッセージには、「CS の方へのお礼」や「自分たちが頑張っていること」「学校のいいところ紹介」などを書いた。また、CS の方に渡すときの目安を決め、教科での支援や、学校行事での見守り等でお世話になった後、渡した。



〔CS の方に渡したしおり〕

#### 【しおりを渡すときの目安】

- ①家庭科のミシンを使う活動等の支援→何回か来ていただいても、1 単元で 1 枚
- ②算数科やその他の授業での支援→1 学期間で、1 枚
- ③生活科の町探検の見守り、図画工作科等での支援→その都度 1 枚

#### (3) 成果と課題

- 町探検では、探検の見守りを保護者ではなく CS の方に依頼したことで、子どもと見守りの方とのグループ調整がしやすくなった。また、CS の方にたくさん来てもらった

おかげで、いろいろなところに探検に行くことができた。

- 家庭科のミシンの学習で支援に入ってもらったので、教師は、評価がしやすくなった。
- 算数科の支援については、学年の実態によるので、来年度は、入ってもらう学年を再度検討するとよい。また、算数科は、通年、曜日や時間を決めて入ってもらうとよい。
- 今年度来ていただいた方に、来年度も来てもらえるとは限らないので、その都度、CS のコーディネーターと早めの連絡調整をして進めなければならない。CS の方との日程調整も難しい。
- しおりの作成は、全学年が全 CS の方を対象に作成したが、各学年で活動内容を考慮し、お世話になる方を対象にして作成するとよかった。相手意識をもってお礼の言葉などを添えることができたのではないかな。